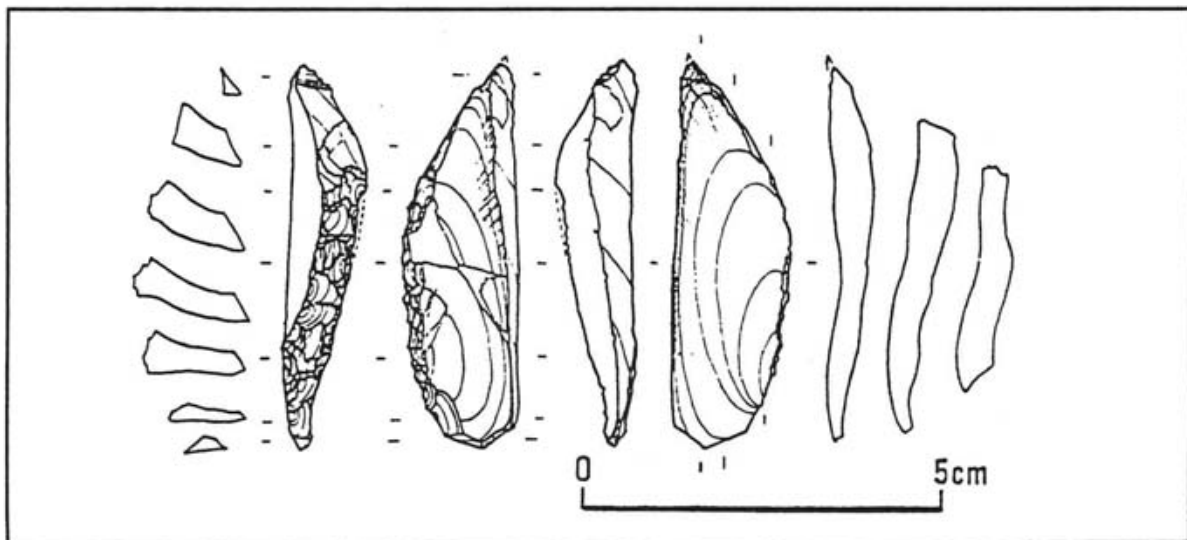


# QR Newsletter

## 第四紀通信

Vol.3 No.1, 1996



神奈川県橋本遺跡出土の国府型ナイフ形石器（学会講演会参照）

**Vol.3 No.1**

**January 10, 1996**

学会講演会・第2会評議会	2	INQUA Committee等の List	8
1996年度大会第1報	2	研連議事録	12
地球惑星科学連合学会合同大会	3	古海洋学シンポジウム	13
博物館見学会報告	6	幹事会報告	14
テフラ研究委員会巡検のお知らせ	7	会員消息	15

## ■日本第四紀学会講演会のお知らせ

日本第四紀学会では下記により講演会を行います。広く関心をお持ちの方をおさそいの上、ご参加くださるようお願いいたします。

日時：1996年1月20日（土） 13：30～15：00

会場：東京大学総合研究資料館 1階 講義室

（赤門入って右手奥突き当たり）

講演者：織笠 昭（東海大学文学部、岩宿文化賞受賞者）

講演題目： 石器を測る

—石器器体角度研究と石器文化論の新展開—

## ■日本第四紀学会 評議員会のお知らせ

日本第四紀学会では学会講演会に引き続き、評議員会を開催いたします。関係者は万障繰り合わせの上、ご参集くださるようお願いいたします。

日時：1996年1月20日（土） 15：00～17：00

会場：東京大学総合研究資料館 1階 講義室

## ■日本第四紀学会 1996年度大会（総会・研究発表会） [第1報]

1996年度日本第四紀学会大会は下記の要領で開催されます。発表申込などについては第2報でお知らせいたします。

### 1. 日程

1996年8月22日（木）一般研究発表 評議員会

8月23日（金）一般研究発表、総会、懇親会

8月24日（土）シンポジウム

### 2. 会場

東京大学山上会館 （東京都文京区本郷7-3-1）

### 3. シンポジウム

テーマ：最終氷期の終焉と縄文文化の成立・展開

世話人：米倉伸之（東京大学）、辻 誠一郎（国立歴史民俗博物館）、岡村道男（文化庁）

### 4. 準備委員会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院理学系研究科地理学専攻

日本第四紀学会1996年度大会準備委員会 （委員長 米倉伸之）

日本第四紀学会・第四紀研究連絡委員会主催で1995年2月18日日本大学文理学部で開催された

### 『1995年1月17日兵庫県南部地震調査速報会』の要旨集

（編集 陶野郁雄・遠藤邦彦・池田安隆）の残部がまだあります。

ご希望の方は至急下記にお申し込み下さい。

申込先：〒113 東京都文京区本駒込5-16-9 学会事務センターC21

Tel 13-5814-5810 Fax 03-5814-5820

価 格：日本第四紀学会会員 1200円+送料240円 一般 1500円+送料240円

## ■1996年日本第四紀学会春季学術大会 第2報 (地球惑星科学関連学会合同大会固有セッション)のご案内

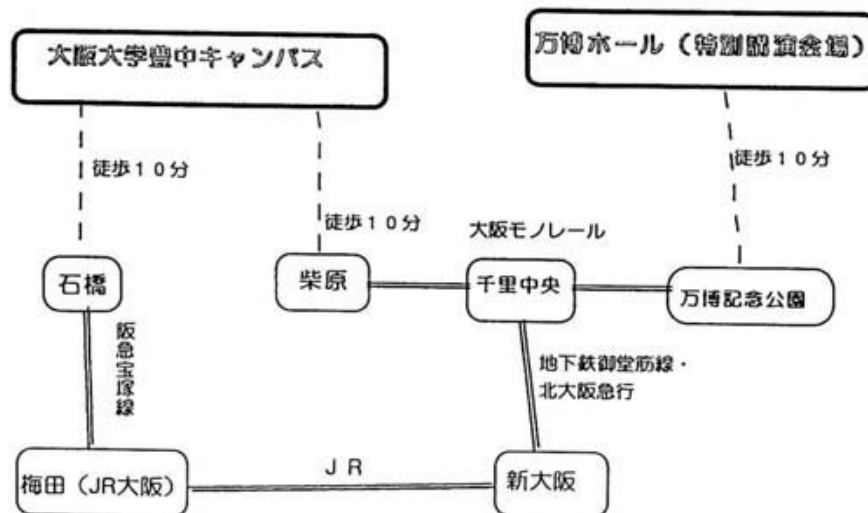
前回の第四紀通信でお知らせしましたように、日本第四紀学会は1996年より地球惑星科学関連学会に正式加盟いたしました。これにより、毎年春に行われている合同大会で第四紀学会の固有セッションを開催することになりました。第四紀学会ではこれを春季学術大会と呼び、夏の大会と同様に一般講演による研究発表を行います。1996年の日本第四紀学会春季学術大会は、下記のように大阪大学豊中キャンパスにおいて、地球惑星科学関連学会が開かれる3月26日から3月29日のあいだの半日、1会場にて開催されます。詳細な日程、開催場所については1月中旬に決定されますので、次号以降の第四紀通信ならびに、合同学会プログラム委員会から第四紀学会会員全員に送付される合同学会プログラムを参照してください。多くの会員がこの春季大会に参加されるようお願いいたします。

### 日時と会場：

1996年3月26日（火）－3月29日（金）  
大阪大学豊中キャンパス（〒560 豊中市待兼山町1-16）

### 会場へのアクセス

梅田（JR大阪）より阪急宝塚線「石橋」下車徒歩10分  
あるいは新大阪より地下鉄御堂筋線・北大阪急行「千里中央」経由、大阪モノレール「柴原」下車徒歩10分  
(特別講演会場：万博ホール 大阪モノレール「万博記念公園」より徒歩10分)



また、この大会で講演ご希望の方は、前号の第四紀通信 (Vol. 2 No. 6) の5ページに掲載してある予稿原稿フォーマットにしたがって原稿を作成し、6ページの講演申込用紙とともに、1996年1月8日（必着）までに下記の行事担当幹事山崎晴雄までお送りください。1月9日に合同学会のプログラム委員会に原稿を送らねばなりませんので、1月9日以降到着の原稿は受理できませんのでご承知ください。FAXも不可です。

講演予稿原稿および講演申込用紙送付先 (1月8日までに必着)

〒192-03 東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学理学部地理学教室 山崎晴雄 宛  
電話：0426-77-2592 FAX：0426-77-2589  
e-mail：yamazaki@mother.geog.metro-u.ac.jp

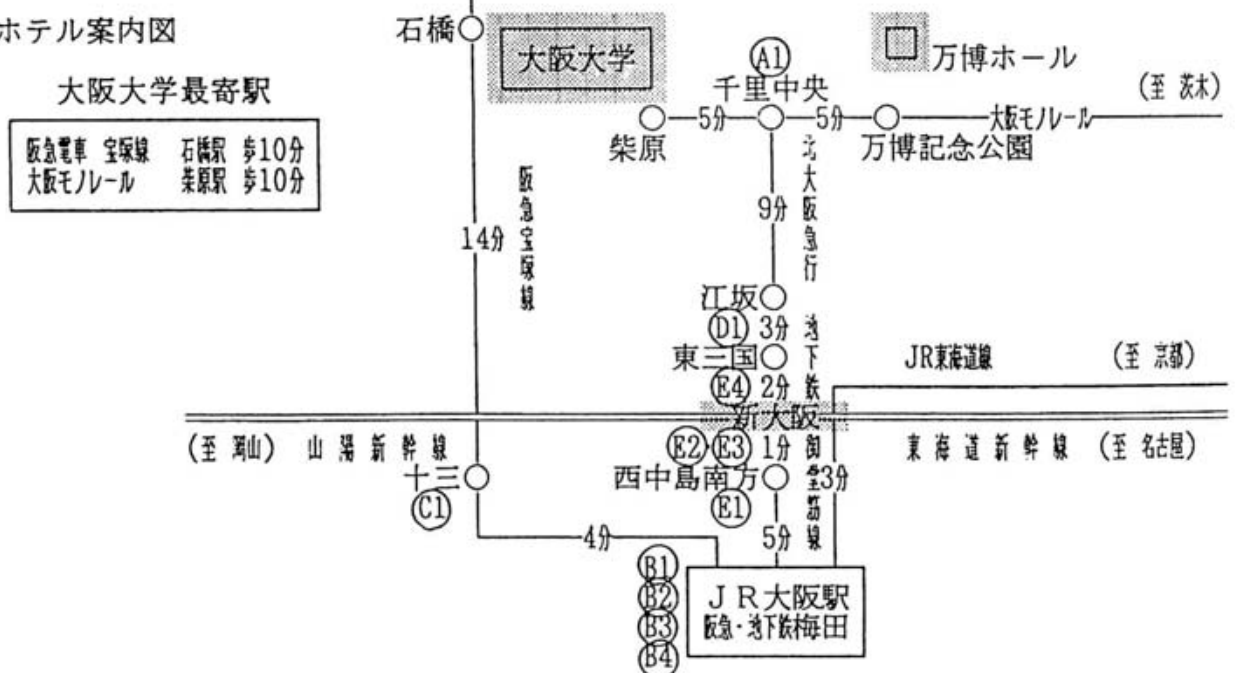
1996年地球惑星関連学会合同大会  
〔宿泊のご案内〕

学会開催期間中は、高校野球をはじめ各種イベントや企業の研修会などが集中し、大阪市内および周辺地域のホテルは非常に混み合います。本学会にご参加のみなさまの便宜をはかるため、交通至便のホテルを特等料金にてご用意いたしました。是非、お早目にお申し込みいただきますようご案内申し上げます。

1 宿泊ホテル料金表（一人当り室料、サービス料・税金を含む）

地区	記号	ホテル名	最寄り駅	シングル	ツイン	トリプル
千里	A 1	千里阪急ホテル	北大阪急行・モノレール 千里中央駅	9,700	8,300	6,700
梅田	B 1	新阪急ホテル	阪急・地下鉄御堂筋線 梅田駅	9,800	8,500	
	B 2	新阪急ホテルアネックス	阪急・地下鉄御堂筋線 梅田駅	9,800		
	B 3	ホテルサンルート梅田	阪急・地下鉄御堂筋線 梅田駅	7,600	6,900	
	B 4	紀州鉄道大阪梅田ホテル	阪急・地下鉄御堂筋線 梅田駅	7,500	6,700	
十三	C 1	プラザオーサカ	阪急 十三駅	7,700 3/28は不可	6,900	6,400 3/28は不可
			ダブルまたはツインの一人料率の場合	8,900 (各3泊可)		
江坂	D 1	江坂東急イン	地下鉄御堂筋線 江坂駅	8,900	7,200	5,600
新大阪	E 1	新大阪サニーストーンホテル	地下鉄御堂筋線 西中島南方駅	7,100		
	E 2	チサンホテル新大阪	地下鉄御堂筋線 新大阪駅	7,400	6,400	
	E 3	ニューオーサカホテル	地下鉄御堂筋線 新大阪駅	8,600		
	E 4	新大阪トーコーホテル	地下鉄御堂筋線 東三国駅	7,600		

2 ホテル案内図



3 お申し込み方法

- (1) 下記お申し込み書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送でお申し込み下さい。
- (2) お申し込み締切日 平成8年2月20日(火)
- (3) 当社に申込書到着次第、予約確認書と御請求書を送付いたします。
- (4) 3月11日(月)までに御請求金額を銀行振込みまたは現金書留にてお支払い頂きます。
- (5) お申し込みの受け順に予約をいたしますが、ご希望のホテルが満員の場合には可能な限り同等クラスのホテルにてご予約させていただきますので、あらかじめご了承ください。

4 ご変更・お取消しについて

- (1) ご変更・お取消しはFAXまたは葉書等でお早目にご連絡ください。
- (2) 取消料はつぎのとおりです。
 

・ 8日前まで	無料
・ 7日前から3日前まで	20%
・ 2日前から前日まで	50%
・ 当日および無連絡	100%

5 お申し込み・お問い合わせ

東武トラベル㈱ 大阪本町支店  
 学会宿泊係(担当:竹島・請田)  
 住所 〒541 大阪市中央区南本町1丁目7番15号  
 電話 (06) 267-2606  
 FAX (06) 267-2895

-----切り取り線-----

1996年地球惑星関連学会合同大会  
 [宿泊申込書]

申し込み 代表者名	[ふりがな]	お電話 番号	(         ) -         )								
確認書 送付先	〒				[所属学会名]						
NO	[ふりがな] 宿泊者氏名			登録 番号	希望日に○印				ご希望ホテル(番号)		
	(1)	(2)	(3)		25	26	27	28	第1	第2	第3
記入 例	ちわくひろし 地惑 宏			S		○	○	○	B2	C1	E3
	とうぶたろう 東武太郎	ひがしたけし 東武		T	○	○	○		A1	D1	C1
1											
2											
3											

\* 室タイプ記号 シングル=S ダブルの一人利用=DS ツイン=T トリプル=P

## 日本第四紀学会 神奈川県立「生命の星・地球」博物館見学記

宮崎 隆（静岡県立伊東城ヶ崎高等学校）

1995年3月、神奈川県小田原に、第四紀研究にとっても嬉しい博物館が開館。

10月22日（日）、第四紀学会主催の見学会が行われた。新東京都庁ビルにも少し似て、落ちついた外観。「生命の星・地球」、見上げるような館名には感銘を受けた。集合場所のエントランスホールには、「チンタオサウルス」（青島竜）と「クチファクヌス」（大型魚竜）の骨格化石標本が、なかよく展示されていた。「二体は一体、なんだこれ?」、、、、3月3日を思い起こしてしまった。

左手壁際には、「人類進化系統図」と見間違えそうになった館内職員の写真入り紹介パネルもあった。押しボタンはなかったが、写真写りよりも若いお二人、松島義章さんと平田大二三が飛び出してきて、参加者を案内してくださった。特別展示室で開催されていた、日本鱗翅学会50周年記念（蝶と蛾の世界）展を見学後、常設展示室の見学となった。1階フロアは、地球誕生・地球の仕組み・生命が変えてゆく地球・地球が生んだ多様な生物種がテーマで、46億年に及ぶ地球史に関する展示があった。第四紀学会見学会でなかったならば、時間をたっぷりかけて、見学すべきところであったが、「随分と骨のある展示」をさらりと眺めて、三階フロアへ。エスカレータを降りての最初の展示は、日本列島地質構造図。第四紀もいよいよ間近と感じた。

第四紀関連展示としては、丹沢の衝突・伊豆の衝突、第四紀環境総合編年、活発な火山活動、縄文の海と森、貝化石が語る相模の海、相模湾に生きる多様な生き物たち、氷河時代の生物の移動、氷河時代を生き抜いたブナ帯の動植物、などと、さらに、人と自然に関しても、神奈川県の自然を考える、自然との共生を考える、という大テーマで広いスペースに展示がなされていた。第四紀の研究というものが、第四紀というかこの地質時代に起きた変化を研究するだけではなくて、自然と人類の現在における諸問題を研究、解決することも重要な重要な課題であることは、これまで知らなかった。

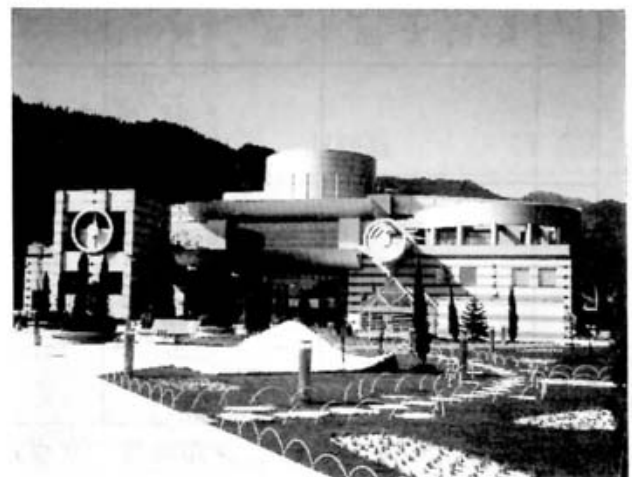
途中、ネームプレートを胸に、無料見学券を手にした学生諸君たちの姿があったが、ビデオ解説のボタンは押しまくり、展示棚の引き出しは引っぱり出して、山崎晴雄（都立大）、齊

藤享治（埼玉大）両会員の指導学生とは思えないほど熱心に展示を見学している姿が印象に残った。大人ばかりか、子供たちもきっと喜ぶだろうと思った。

常設展示を一巡り、地震には自信がなかったのか展示がなかった。心配される小田原地震（会員によっては、期待される）、その小田原早川溪谷に、横浜より博物館を移転して、あえて、地震展示をしなかったであろう学芸員諸氏をはじめとする関係者一同の「次の世代に誇れる博物館づくり・・・」にかけた情熱、意気込みの奥深さが感じられた。

常設展示見学後、内部施設、設備も見学できた。学芸員室もあったが、学芸員諸氏が活動する上で必要な機材、備品の整備まではこれからの課題。サンプル分析器具や年代測定装置なども備え付け、外部研究者との共同研究やオープン利用施設としての博物館活動も押し進めていきたいというお話も伺えた。「展示内容に間違いや問題点など、気づかれたこと、ありませんでしたか？」第四紀学会見学会の目的やび見学の技法まで指摘なされていたように感じられた。

秋の行楽シーズン、日曜午後の箱根口、博物館より徒歩3分、登山鉄道の小さな駅舎、入生田駅ホームでは、既に満員状態の上り電車に乗ることで、参加者一同ラッシュアワーまで実体験、博物館が完成して半年、周辺の総合開発計画、とりわけ、博物館に行くまでの交通機関の整備までは、進められていないようであった。とはいえ、、、「ロマンスカーの終着駅」という雰囲気が出たりな「生命の星・地球博物館」であった。



## 第5回テフラ研究委員会／中九州野外巡検のお知らせ

テフラ国内委員会事務局 町田 洋, 鈴木毅彦 (都立大地理)

日本第四紀学会のテフラ国内委員会では、男鹿集会での話し合いを参考にし、1995-1996年の活動の一つとして、次のような野外巡検を企画しました。ふるってご参加下さい。

日時：1996年3月1日(金)～3日(日)(2泊3日)

巡検場所：熊本～大分

巡検のテーマ：阿蘇、九重、猪牟田、南九州諸火山の第四紀大規模テフラ

内容：1) 中九州カルデラ起源の大規模火砕流堆積物 (Aso-1, 2, 3, 4, 耶馬溪, 今市など)

2) 阿蘇中央火口丘テフラから100万年前の猪牟田ピンクテフラまで  
(日本の主要な広域テフラが見られます)

3) 火山活動史、海成段丘と堆積物編年に果たすテフラの意義

およそのコース：3/1 熊本(駅・空港)－阿蘇カルデラ－波野－萩－長湯(泊)

3/2 主として竹田市周辺(長湯泊)

3/3 長湯－野津原－阿蘇野－大分・曲－丹生・鶴崎周辺－大分(駅・空港)

案内者：小野晃司・渡辺一徳・星住英夫・鎌田浩毅・町田 洋

連絡先・組織委員：町田 洋(都立大/理/地理, 八王子市南大沢1-1 TEL 0426-77-2593,

FAX 0426-77-2589) 小野晃司(応用地質 TEL 03-3234-0811 FAX 03-3234-6485)

参加費：約30,000円(宿泊費, バス代, 昼食代込み, 最後に精算します)

申込み：都立大・鈴木毅彦(TEL 0426-77-2594 FAX 0426-77-2589 e-mail: suzuki@geog.metro-u.ac.jp)まで, 氏名・連絡先(電話とファックス番号, あればE-mailアドレスも)・集合場所(熊本空港か熊本駅かの別)・その他(質問、連絡事項)を付記して1月31日(水)までにお申込み下さい。

先着順40名の予定。申込金10,000円。郵便振替口座：00190-0-720271 鈴木毅彦

なお申し込み後2/10までにキャンセルされる場合は申込金を返却します。

集合場所と時間(予定)：3/1 10:00JR熊本駅；11:00熊本空港

解散の予定：3/3 17-18時ころJR大分駅、大分空港

宿泊場所：3/1, 2 直入町長湯温泉国民宿舎直入荘 TEL 0974-75-2288

その他：航空便ご利用の方は1月以上前の事前購入(25-30%割引)をお薦めします。

また2月に、参加予定者には最終案内を差し上げます。

## ■第12回しんかいシンポジウム

日時：平成7年12月19日(火)9:30-18:00

12月20日(水)9:30-17:00

会場：コクヨホール(JR品川駅港南口下車徒歩1分)

東京都港区港南 1-8-35 TEL:03-3450-3712

(開催当日受付電話 TEL:03-3474-6092)

主催：海洋科学技術センター

横須賀市夏島町2-15

問い合わせ先：深海研究部 藤岡・藤原 TEL:0468-67-5506

入場無料・予稿集当日配布

<特別講演> 12月19日(火)13:35-14:25

「海底研究の過去と未来」 瀬川爾朗(東京大学海洋研究所)



*International Union for Quaternary Research*  
国際第四紀学連合

**INQUA EXECUTIVE COMMITTEE (執行委員会) 1995-1999**

Updated: October 11, 1995

**President: Prof. Stephen C. Porter** Quaternary Research Center University of Washington Seattle Washington 98195 U.S.A. Phone: +1 206 543 1166 Fax: +1 206 543 3836 e-mail: scporter@u.washington.edu

**Secretary: Prof. Sylvi Haldorsen** Agricultural University of Norway Department of Soil and Water Sciences Section of Geology and Water P.O.Box 5028 N-1432 Aas Norway Phone: +47 64 94 82 52 Fax: +47 64 94 82 11 e-mail: sylvi.haldorsen@ijvf.nlh.no

**Treasurer: Dr. Ed F.J. de Mulder** Geological Survey of The Netherlands P.O.Box 157 2000AD Haarlem The Netherlands Phone: +3123 300 292 Fax: +31 23 262 709 e-mail: e.fj.demulder@rgd.nl

**Vice-Presidents: Prof. Nicholas J. Shackleton** University of Cambridge Godwin Institute for Quaternary Research Free School Lane Cambridge CB2 3RS Great Britain Phone: +44 1223 334876 Fax: +44 1223 334871 e-mail: njsS@cam.ac.uk

**Dr. Martin H. Iriondo** Conicet Casilla de Correo 487 3100 - Parana Argentina Phone: +54 42 27 774 Fax: +54 42 550 944 e-mail: miriond@arcride.edu.ar

**Prof. Yoko Ota** Department of Geography Senshu University 2-1-1, Higashimita Tamaku Kawasaki, 214 Japan Phone: +81 44 911 1290 Fax: +81 44 911 123

**Prof. Timothy Cooper Partridge** Climatology Research Group University of the Witwatersrand 12 Cluny Road, Forest Town 2193 Johannesburg South Africa Phone: +27 11 646 3324 Fax: +27 11486 1689 e-mail: 141 tcp @cosmos.wits.ac.za

**Past-President: Prof. Tungsheng Liu** Institute of Geology Chinese Academy of Science P.O.Box 9825 Beijing 100029 P.R.China Phone: +86 10 202 7766 ext. 322 Fax: +86 10 205 2184 e-mail: tsliu@mimi.cnc.ac.cn

## Officers of Commissions and Committees

elected at the XIV Congress (Updated October 18, 1995)

### COMMISSIONS (研究委員会) :

#### Glaciations

**President: Prof. D. M. Mickelson** Department of Geology and Geophysics 1215 Dayton St. University of Wisconsin Madison WI 53706 U.S.A. Phone: +1 608 262 8960 Fax: +1 608 262 0693 email: mickelson@geology.wisc.edu

**Vice-President: Dr. J. Piotrowski** Institute of Geology and Paleontology University of Kiel Olshausenstr. 40-60 D-24118 Kiel GERMANY Phone: +49 431 880 2878 +49 431 880 2851 Fax: +49 431 880 4376 e-mail: noe57@rz.uni-kiel.d400.de

**Secretary: Dr. A. Hansel** Illinois State Geol. Survey 615 East Peabody Dr. Champaign n 61820 U.S.A. Phone: +1 217 333 5852 Fax: +1 217 333 2830 e-mail: hansel @geoserv.isgs. uiuc.edu



**Global Continental Palaeohydrology**

**President: Prof. V.R. Baker** Dept. of Geosciences Univ. of Arizona Tucson AZ 85721 U.S.A Phone: +1 602 621 6003 Fax: +1 602 621 2672

**Vice-President: Dr. K.J. Gregory Goldsmith** University London New Cross SE14 6NW London GREAT BRITAIN

**Secretary: Dr. A.G. Brown** Dept. of Geography University of Exeter Rennes Drive Exeter EX4 4RJ UNITED KINGDOM

**Holocene**

**President: Prof. J. Dodson** Dept. of Geography University of Western Australia Perth WA 6907 AUSTRALIA Phone: +61 9 380 2698 Fax: +61 9 380 1054 e-mail: johnd @ sunny.gis.uwa.edu.au

**Vice-President: Dr. E. Cook** Lamont-Doherty Earth Observatory Route 9 W Palisades NY 10964 U.S.A. Phone: +1 914 359 8618 Fax: +1 914 359 2931 e-mail: drdendro @ lamont.lidgo.columbia.edu

**Secretary Dr. S. Leroy** Centre for Palaeoecology Queen's University Belfast BT7 1NN North Ireland UNITED KINGDOM Phone: +44 1232 335 143 Fax: -144 1232 321280 email: s.leroy@qub.ac.uk

**Loess**

**President: Dr. Z. S. An Xian** Lab. for Loess Research Academia Sinica P.O. Box 17 Xian P.R. CHINA Fax: +86 29 752 566

**Vice-President: Dr. N. Fedoroff** Lab. de Science des SolsI NAPG78850 Thiveral FRANCE Fax: +33 1 305 49454

**Secretary: Dr. I. Smalley** Centre for Loess Research Leicester University Leicester LE1 7RH UNITED KINGDOM Fax: +44 116 252 3854 e-mail: iain.stewart@brunel.ac.uk

**Neotectonics**

**President: Prof. C. Bartolini** Geologia e Palaeontologia Via G. la Pira 4 I-50121 Firenze ITALY Phone: +39 55 275 7522 Fax: +39 55 218 628 e-mail: Bartol@dister.unige.it

**VicePresident: Dr C. Ollier** 8 Dry Street Curtin ACT, 2605 AUSTRALIA

**Secretary: D. I.S. Stewart** Dept. of Geology Brunel University Borough Road Isleworth London TW7 SD UUNITED KINGDOM Phone: +44 81 569 9198 Fax: +44 81 568 8741

**Palaeoclimate**

**President: Prof. J.-L. de Beaulieu** Lab. de Botanique Historique et de Palynologie Faculte de St-Jerome Case 451 F-13397 Marseille Cedex 13 FRANCE Phone: +33 91288 012 Fax: +33 91 288 668 email: dialup.francenet.fr

**Vice-President: Dr. Guo Zen Tang** Institute of geologyAcademia Sinica P.O.Box 634 Beijing 100029P.R.China

**Secretary Ms. M.F. Loutre** Institut d'Astronomie et de Geophysique Universite Catholique de Louvain 2 Chemin dy Cyclotron B - 1348 Louvainla-Neuve BELGIUM e-mail: loutre@astr.ucl.ac.be

**Palaeopedology**

**President: Prof. Dr. A. Bronger** Dept. of Geography University of Kiel D-24098 Kiel GERMANY Phone: +49 432 880 2952 Fax: +49 431 880 4658

**Vice-President: Prof. Dr. J. Catt** Rothamsted Experimental Station Harpenden Herts England, AL5 2 JQ UNITED KINGDOM Phone: +44 1582 763 133 Fax: 144 1582 760 981

**Secretary Dr. A. Makeev Dokuchaev** Soil Institute Pyzhevsky Lane 7 109017 Moscow RUSSIA Phone: +7 095 932 1182 Fax: 7 095 932 1182 e-mail: alex@makeev.msk.ru admin @ fadr. msk.ru

### Quaternary Shorelines

**President: Prof. M.J. Tooley** School of Geography & Geology University of St. Andrews North Haugh, St. Andrews Fife KY16 9ST Scotland UNITED KINGDOM Phone: 144 1334 46 3940 Fax: +44 1334 46 3949 e-mail: mjt4@st-andrews.ac.uk

**Vice-President: Prof. C. Zazo** Dept. of Geology Museo Nacional De Ciencias Naturales Jose Gutierrez Abascal 2.28006 Madrid SPAIN Phone: +34 1 411 1328 Fax: +34 1 5644740 e-mail: mcncz65@ccpinarl.csic.es

**Secretary: Dr. P. Nunn** University of the South Pacific Suva FIJI

### Quaternary Tephrochronology and Volcanism

**President: Prof. J.E. Beget** Dept. of Geology & Geophysics Univ. of Alaska Fairbanks AK 99775-0760 U.S.A. Phone: + 1 907 474 5301 Fax: +1 907 474 5163

**Vice-President: Dr. Etienne Juvigne** Maitre de Recherches Universite de Liege Geologie du Quaternaire 7, Place dy XX Aout 4000 Liege BELGIUM

**Secretary: Dr. V. Hall** Institute of Irish Studies 8 Fitzwilliam Street BT6 9AW Belfast N. Ireland UNITED KINGDOM e-mail: vhall@queens-belfast.ac.uk

### Stratigraphy

**President: Prof. T.C. Partridge** Climatology Research Group University of the Witwatersrand 12 Cluny Road, Forest Town Johannesburg, 2193 SOUTH AFRICA Phone: +27 11 646 3324 Fax: +27 11 486 1689 e-mail: 141 tcp@cosmos.wits.ac.za

**Vice-President: Prof. Ch. Schluchter** Geol. Institut der Univ. Bern Baltzerstrasse 1 CH-3012 Bern SWITZERLAND Phone: +41 31 631 8763 Fax: +41 31 631 4843

**Secretary: Prof. D. van Husen** Institut für Geologie, TU Wien Karlplatz 13 A- 1040 Wien AUSTRIA Phone: +43 1 58801 3079 (or 3077) Fax: +43 1 504 42 35 e-mail: vanhusen@diabas.tuwien.ac.at

### Terrestrial Carbon

**President Prof. H. Faure** Labo. de Geologie du Quaternaire CNRS Luminy, Case 907 F-13288 Marseille Cedex 9 FRANCE Phone: +33 91 269 647 Fax: +33 91413 879 e-mail: faure@riou.univ-mrs.fr

**Vice-President: Dr. A. A. Velichko** Laboratory of Evolutionary Geography Institute of Geography Academy of Sciences of Russia Staromonetny 29, Moscow 109017 Russia Fax: +7 095 230 20 90 e-mail: paleo@glas.apc.org

**Secretary: Dr. J. Adams** LGQ-CNRS/CEREGE, B.P. 8013545 Aix-en-Provence Cedex 04 FRANCE Fax: +33 42 97 1595

### **INTER-CONGRESS COMMITTEE:**

#### Palaeogeographic Atlases of the Quaternary

**President: Prof. M. Pecsí** Geographical Research Institute Hungarian Academy of Sciences Andrássy Ut 62H-11-1388 Budapest HUNGARY Phone: +36 1 111 7814 Fax: +36 1 131 7991

**Vice-President: Prof. Burkhard Frenzel** Institut für Botanik Universität Stuttgart-Hohenheim Garbenstr. 30D-70593 Stuttgart GERMANY Phone: +49 711 459 2194 Fax: +49 711 459 3355

**Secretary: Dr. Zoltán Keresztesi** Geographical Research Institute Hungarian Academy of Sciences Andrássy Ut 62H-11-1388 Budapest HUNGARY Fax: +36 1 131 7991

## Presidents of National INQUA Committees

- Argentina :** **E. TONNI** CADINQUA Dpto. de Cooperacion Internacional CONICET, Rivadavia 19171033  
BUENOS AIRES
- Australia:** **E.A.COLHOUN** Department of Geography University of Newcastle CALLAGHAN, N.S.W. 2308
- Austria:** **D. Van HUSEN** Institut fur GeologieKarl splatz 13/203A-1040 WIEN
- Belgium:** **J.M.CORDY** Dept. de Paleontologie animale Universite de Liege 7 place du XX Aout B4000 LEGE
- Brazil:** **K. SUGUIO** Instituto de geociencias-USP Caixa Postal 20 89901498 SAO PAULO
- Canada:** **B.A. BLACKWELL** Dept. Geology Queens College City University of New York FLUSHING,  
N.Y. 11367-1597 U.S.A.
- P.R. China:** **LIU Tungsheng** (President) Institute of Geology Chinese Academy of Sciences P.O.Box 634  
BEIJING 100029
- Tscheckia:** **V. SIBRAVA** Czech Geological Survey Malostranske namesti 19118 21 PRAHA 1
- Denmark:** **J. KRUGER** Geographical Institute Oster Volgade 10 DK - 1350 KOBENHAVN K
- Finland:** **Y. VASARI** Dept. Botany University of Helsinki Unioninkatu 44SF-00170 HELSINKI
- France:** **D.D. ROUSSEAU** Universite Montpellier II Instiut des Sciences de l'Evolution place E. Bataillon  
case 61 34095 MONTPELLER Cedex 5
- Germany:** **B. FRENZEL** Universitat Hohenheim Botanisches Institut 70593 Stuttgart
- Greece:** **I. MARIOLAKIS** 70 Messoghion SLATHENS 608
- Hungary:** **M. PECSI** Geographical Research Institute Hungarian Academy of Sciences H-1388 BUDAPEST  
Andrassy ut 62
- Ireland:** **R.R. HORNE** Nadonal Committee for Geology The Royal Irish Academy Geological Survey of  
Ireland Beggars Bush Haddington Road DUBLIN 4
- Israel:** **D.H. YAALON** Inst. Earth Sciences The Hebrew University Givat Ram Campus JERUSALEM 91904
- Italy:** **P. AMBROSETTI** Universita di Perugia Dipto. di Scienze della Terra Piazza del Universita 06100  
PERUGIA
- Japan:** **N. YONEKURA** Dept. Geography Graduate School of Science University of Tokyo Hongo, Bunkyo-ku  
TOKYO 113
- Korea:** **Y.A. PARK** Dept. Oceanography Seoul National University SEOUL 151-742
- Lithuania:** **A. GRIGELIS** Lithuanian National Committee of Geologists Sevcenkos 132600 Vilnius
- Moldova:** **C. MIKHAILESCU** Institute of Geography 3 Academia Street 277028 KISHINEV
- Mexico:** **S. Lozano GARCIA** Instituto de Gelogia, UNAM Ap. Postal 70-296 Ciudad Universitaria Mexico  
DF 04510
- The Netherlands:** **E.A. KOSTER** Geografisch Instituut Rijksuniversiteit Utrecht Heidelberglaan 2, Postbus  
80.1153508 TC UTRECHT
- New Zealand:** **I.B. CAMPBELL** Land & Soil Conservation Services 23 View Mount NELSON
- Norway:** **E. LARSEN** Geological Survey of Norway P.O.Box 3006 Lade 7002 Trondheim
- Poland:** **L. STARKEL** Inst. Geografii Polska Akademia Nauk ul. Sw. Jana 22 31-018 KRAKOW
- Portugal:** **F.DINIZ** M.L.M.G.Faculdade de Ciencias 12954 LISBOA Cedex
- Russia:** **A.L. YANSHIN** (President) Geological Institute Academy of Sciences Pyzhevsky 710917  
MOSCOW J-17
- South Africa:** **T.C. PARTRIDGE** 12 Cluny Road Forest Town JOHANNESBURG 2193
- Spain:** **C. ZAZO** Dpto. de Geologia Museo Nacional de Ciencias Naturales C.I.S.C.Jose Gutierrez Abascal  
628006 MADRID
- Sweden:** **N.-A. MÖRNER** Palaeogeophysics and Geodynamics University of Stockholm Krafttriket 24S-106  
91 Stockholm
- Switzerland:** **C. S CHLÜCHTER** Institute of Geology University of Bern Baltzerstrass 1CH-3012 BERN
- United Kingdom:** **F. OLDFIELD** Dept. Geography University of Liverpool PO Box 147, Oxford Street  
LIVERPOOL L69 3BX
- U.S.A.:** **V. R. BAKER** Dept. Geosciences University of Anzona TUCSON, Anzona 85721

## ■第16期第5回第四紀研連議事録

日時：平成7年9月29日（金）13：30～16：30  
場所：日本学術会議第4部会議室（6階）  
出席者：池田安隆，上杉陽，太田陽子，大場忠道，熊井久雄，小池裕子，酒井潤一，新藤静夫，野上道男，松島義章，米倉伸之（11名） 欠席者：立石雅昭（1名）

1. 前回（6月16日）の議事録案を承認した。
2. 報告

### (1) 地質学総合研連報告（新藤会員）

1) 7月6日に開催された第4部夏部会での議事が報告された。

イ) 国際陸上科学掘削計画（ICDP）への我が国の参加について、対外報告として発表することが了承された。

ロ) 平成9年度科学研究費補助金「時限付き分科細目」について、第4部から「自然史科学」を第1位で提案することが報告された。従来の「地圏環境システム」は過去2年間第1位で提案されていたが、実現の見込みがないので、方針を変更することとした。

ハ) 日本学術会議会員推薦手続きについては色々議論されたが、今のところ結論はでていない。

ニ) 複数の研連にまたがる専門委員会の設置について検討されている。

2) 地質学総合研連では、社会から期待される大学における地質学教育について、全国地質調査業連合会の協力を得てアンケートを実施する準備をしていること、地質学に関連する諸問題を解決するために地質学関連学協会というような組織をつくる必要性が議論されていることが報告された。

(2) 平成7年9月26日に開催された第7常置委員会（国際対応）拡大委員会について、委員長から報告され、同委員会で準備している「加入国際学術団体の手引き」のために提出された「国際第四紀学連合」の概要説明書（2頁）が配付された。

(3) 国際第四紀学連合第14回ベルリン大会について、委員長から報告資料（11頁）に基づいて詳しく報告された。報告の内容は、会議名、会期、会議開催地、会議主催団体、登録費、参加国および参加者数、日本人参加者、日程の概要、シンポジウムのタイトル数、野外研究旅行、配付印刷物のリスト、日本からの配付物と展示、1991-1994年決算、1995-1998年予算、各国分担金、定款・細目の改訂、研究委員会の

ガイドラインの設定、研究委員会の設置、国際第四紀学連合の出版物、名誉会員の推薦、次期執行委員会名簿、次期（第15回）大会の開催場所と期間、シンポジウムのタイトルとコンヴェナー氏名など。

(4) 文部省学術審議会は平成7年4月に「地球環境科学の推進方策について」と題して、地球環境科学の推進のための、中核的研究機関の整備、共同研究機関や研究センターによるネットワークの整備、国際共同研究の推進などについて建議したこと、中核的研究機関の平成7年度の公募結果などについて情報交換された。

### 3. 審議

(1) 研究連絡委員会委員の補充について

相馬寛吉委員の逝去に伴う本研連委員の補充について議論され、日本第四紀学会に候補者を推薦して欲しい旨の申し出をすることになった。

(2) 今後の国際対応の体制について

イ) 国際第四紀学連合の1995-1999年における研究連絡委員会活動への日本人の参加について、情報を交換した。層位学研究委員会では、熊井久雄氏がアジア太平洋地域小委員会の副委員長、更新境界小委員会の副委員長に就任したこと、第四紀海岸線研究委員会では、西太平洋小委員会の副委員長に大村明雄氏が、正委員に海津正倫氏が、太田陽子氏が顧問に就任したことが確認され、ネオテクトニクス研究委員会、テフロクロノロジー研究委員会、古水文研究委員会などについては情報を確認することとした。また、それらの研究委員会に対応した国内活動を進めるため、日本第四紀学会のもとにおける研究委員会制度を今後も継続し、国際第四紀学連合の研究委員会に対応した国内活動がしやすいような環境づくりを整備することを依頼することとした。

ロ) 太田陽子さんが国際第四紀連合副会長に就任したことに伴い、国内委員会である本研連でも副会長としての活動を積極的に支援することを確認するとともに、国際第四紀連合執行委員会としてはアジア地域からの加盟国を増やすよう努力して欲しいむねの意見が述べられた。

ハ) アジア太平洋地域における第四紀研究について交流を推進するために、日本人が参画している国際研究プロジェクトを中心として、アジア太平洋地域における第四紀環境変遷に関する国際シンポジウム（ワークショップ）を1997年または98年に開催するための準備を始めることにした。そのため研連内にワーキンググループ設置することとして、太田陽子、熊井久

雄, 大場忠道, 小池裕子を委員として選出した。

(3) 今期の活動計画について(継続)

イ) 上杉委員から年代測定施設についての資料が配付された。

ロ) 大場委員から大学における第四紀研究のカリキュラムに関する資料として、北海道大学大学院地球環境研究科および理学部地質学鉱物学科の講義科目とその概要についての資料が配付された。広く調査をするのはなかなか難しいので、まず研連委員の大学における現状についての資料を収集することとして、10月末までに立石委員宛てに送付することとした。

(4) そのほか

イ) 小池委員から国際学術誌「The Island Arc」に第四紀関係の特集号を企画するなど、編集に協力してもらいたいむねの申し出があった。

ロ) INQUA要覧の改訂について、太田、小池、熊井委員で進めることが再確認された。

ハ) 熊井委員から、第四紀研連の英語略称とレターヘッドの作成について要望が出された。

ニ) The Quaternary Perspective, Vol. 5, No.2, Vol.6, No.1が配付された。

ホ) Yonekura, N. ed., National Report on Quaternary Research in Japan for the Inter-Congress Period 1991-1995, National Committee for Quaternary Research of Japan, Japan Association for Quaternary Research, July 1995, 54頁が配付された。

次回は、1995年12月8日(金)13:30-16:30に、日本学術会議にて開催の予定。なお当日11:30から、国際シンポジウムワーキンググループの会合も開催の予定。

=====

INQUA国際第四紀学連合副委員長太田陽子氏のもとに、INQUAの新しいCommissionとして "The Quaternary Mineral Deposits"をつくるため、Working Groupへの参加の呼びかけの書状が届きましたので、お知らせいたします。詳しくは下記にお問い合わせ下さい。

As you may know, National Committee of Russia made a suggestion at the XIV INQUA Congress in Berlin regarding a creating of the new INQUA Commission "The Quaternary Mineral Deposits". This suggestion was supported by many National Committees. (略)

If you are interested, we kindly ask you to send us your proposals about new Working Group projects and initial steps of activity. It is also desirable, if you could suggest in accordance with your choice other possible participants for new Committee from Japan and other countries (the Executive Committee is especially interested in seeing that young scientists, as appropriate, are included in Commission projects).

Prof. Natalia G. Patyk-Kara,

as the Leader of Working Group, Chairman of the Section of Placer Deposits  
(Scientific Council of the Russian Academy of Sciences)

IGEM RAN

Staromonetny per. 35, Moscow 109017, RUSSIA

Phone: 7-(095)-930-8497 Fax: 7-(095) 930 9179 E-mail: shevgigem.msk.su

## ■古海洋学シンポジウムのお知らせ

### 「古海洋学の現状と将来—我々は何をすべきか—」

1月16日(火)・17日(水) 9:30~17:00

東京大学海洋研究所講堂(東京都中野区南台1-15-1)

コンピーナー:小泉 格(北大・院・理学) Tel 011-706-2733

平 朝彦(東大・海洋研) Tel 03-5351-6437)

### 「後期第四紀の海洋環境と生物生産—海洋と気候変動の変遷—」

1月18日(木) 10:00~17:00

工業技術院地質調査所 別館大会議室(つくば市東1-1-3)

コンピーナー:川幡穂高(地調・海洋地質) Tel 0298-54-35

## ■第3回幹事会議事録

日時：1995年12月9日（土） 14:00～17:00

場所：東京 機山館 会議室

出席者：米倉伸之（副会長），坂上寛一，小池裕子，山崎晴雄，吉川周作，斉藤享治（以上幹事），村上 聡（学会センター）

### 1. 庶務

(1) 「基礎研究の振興と科学技術教育シンポジウム」（1995年12月18日，日本学術会議講堂，主催：日本工学会・日本工学教育協会），「アジア学術会議－科学者フォーラム（1996年3月25～28日，三田共用会議所，主催日本学術会議）の後援学会となることを承諾した。

(2) 第四紀研究の科研費補助金（刊行助成金）の申請を行った。

(3) 名誉会員候補者選考委員会を設けることにした。

### 2. 会計

(1) 11月30日現在の会計状況が報告された。

### 3. 編集

(1) 編集状況が報告された。受理論文が確保されているのはVol. 34, No. 5までである。

(2) 新潟大会のシンポジウム特集号の編集状況が報告された。

(3) 1995年地球惑星科学関連学会合同大会の第四紀学会提案シンポジウムに関係した論文の編集体制が報告された。

(4) 第四紀研究のA4判化を検討中である旨，報告があった。

### 4. 会報

(1) 第四紀通信Vol. 2, No. 6を11月に発行した。

(2) 第四紀通信の広告掲載について検討した。

### 5. 行事

(1) 神奈川県立「生命の星・地球博物館」の見学会（10月22日）の実施状況（参加者30名）の報告があった。

(2) 地球惑星科学関連学会合同大会の固有セッションの正式名称を「日本第四紀学会春季学術大会（Spring Meeting of Japan Association for Quaternary Research）」とする。

(3) 第2回評議員会（1月20日）時の特別講演会の準備状況について報告があった。

(4) 1996年大会の準備状況について報告があった。

### 6. 企画

(1) 第3回講習会「テフクロロジー」（11月11，12日）の実施状況（参加者24名）の報告があった。

### 7. その他

(1) 会則改正に伴う会長推薦幹事1名の増員について，役割，候補者などを検討した。

(2) 論文賞選考委員の候補者について検討した。



